

<b>横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨</b>	
<b>日 時</b>	令和3年7月30日(金) 18時00分～18時30分
<b>開催場所</b>	市庁舎10階 本部会議室
<b>出席者</b>	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、デジタル統括本部長、政策局長(代理:政策局副局長)、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、子ども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長(代理:消防局副局長)、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長(代理:人事委員会事務局調査任用部長)、監査事務局長、議会局長</p> <p>【区】鶴見区長(代理:鶴見区副区長)、南区長(代理:南区副区長)、泉区長(代理:泉区副区長)</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
<b>開催形態</b>	マスコミ公開
<b>議 事</b>	<p><b>開 会</b></p> <p><b>1 市内の状況</b></p> <p>(1) <b>感染発生等の状況&lt;健康福祉局&gt;</b> 資料1に沿って説明【健康福祉局長】 ・(P.4) 本日7月30日の新規陽性患者数は540人となり、これまでの最高値(542人)に迫る数字となった。極めて急激な上昇を示している。</p> <p>【市長】 ・自宅療養者については、手厚く状況を確認していかなければならないと考えるが、その対応について説明いただきたい。</p> <p>【健康福祉局長】 ・病院から発生届が出たタイミングでの体調チェック等を徹底していく。 ・県との連携の中ではITも活用されており、システムへの情報入力等も徹底していく。 ・県に定期的に職員を派遣し、意見交換等を行い連携する仕組みとなっている。今後も引き続き実施していく。</p> <p>【市長】 ・説明いただいた対応については今後も徹底していくこと。</p> <p>(2) <b>医療提供体制の状況&lt;医療局&gt;</b> 資料2に沿って説明【医療局長】 ・(P.14) 新規陽性者数は7月以降急激に増えているが、新規陽性者のうち60代以上が占める割合は、第3波(令和3年1月頃)と比べると明らかに減少している。第3波にみられた高齢者施設でのクラスターもほとんど発生しておらず、ワクチン接種の効果が現れていると考えられる。 ・(P.17) 急激な感染拡大への対応として、市内医療機関に対して現在以上の病床を確保するよう働きかけており、8月上旬には中等症用病床が約30床増える見込みである。また、Y-CERT体制の増強として、市内の救命救急センター長に常駐してもらうなど、「Y-CERT 特別対策チーム」を編成した。</p> <p><b>2 ワクチン接種の状況&lt;健康福祉局&gt;</b> 資料3に沿って説明【健康福祉局長】 ・(P.19) 高齢者のワクチン接種の状況について、対象者(970,684人)のうち81.2%(788,227人)の方が接種2回完了又は接種1回目を終えている。</p>

	<p><b>3 国及び県の方針&lt;本部運営調整チーム&gt;</b> 資料4に沿って説明【危機管理室長】</p> <p><b>4 本市の対応</b> 市民利用施設等の方針&lt;本部運営調整チーム&gt; 資料5に沿って説明【危機管理室長】</p> <p><b>5 本部長指示</b> 別紙のとおり</p> <p><b>6 その他</b> 【教育長】 ・教育委員会では、パラリンピックの学校観戦チケットを約800枚保有している。本チケットは8/29～9/4の新国立競技場（東京都）分であり、8/31までの緊急事態宣言発出を踏まえると、学校観戦の実施は困難であると考えているが、参加予定校（13校）と相談しながら、8月半ば頃には判断しなければならない状況である。本状況についてご承知おきいただきたい。 【市長】 ・承知した。しっかりと協議したうえでご判断いただきたい。また、必要があればご相談いただきたい。</p> <p>閉会</p>
<p>資料 ・ 特記事項</p>	<p><b>1 資料</b>      &lt;&lt;市内の状況&gt;&gt;      資料1 感染発生の状況【健康福祉局】      資料2 医療提供体制の状況【医療局】      &lt;&lt;ワクチン接種の状況&gt;&gt;      資料3 ワクチン接種の状況【健康福祉局】      &lt;&lt;国及び県の方針&gt;&gt;      資料4 国及び県の方針【本部運営調整チーム】      &lt;&lt;本市の対応&gt;&gt;      資料5 市民利用施設等の方針【本部運営調整チーム】</p> <p><b>2 特記事項</b> なし</p>

本日、政府は、神奈川県に8月2日から8月31日までの間、緊急事態宣言を発出することを決定しました。

今、これまで以上に強い感染の波が、押し寄せています。新規感染者数が全国で初めて1万人を超え、神奈川県でも1,000人を超え過去最多となるなど、感染が急速に拡大している現状においては、やむを得ない決定だと思えます。

このたびの決定に伴い、横浜市は、市民利用施設の利用を20時まで、イベント開催時は21時までとし、原則として宣言期間中の施設利用の新規予約受付を停止します。

また、市主催・共催のイベントは、引き続き、原則21時までとし、人数上限を5,000人かつ収容率50%以内に変更します。

先ほど報告がありましたが、本日の横浜市の新規感染者数は、過去最多に迫る540人です。

直近1週間の新規感染者数は2,025人となり、前週と比べて実に141%と大幅に増えています。

横浜市内で確保している病床554床の稼働率は、約52%です。そのうち、重症の方は7月に入り15人前後で推移していましたが、先週から急増し、現在は、40人となっています。中等症の方も、7月上旬に100人前後だったところ、中旬から徐々に増え、現在は191人と、急増しています。

熱中症による救急搬送も増えており、これ以上の感染拡大が続けば、コロナ対応のために、通常医療を抑制せざるを得ない事態になりかねません。私たちは、何とせよ、ここで感染拡大を食い止めていく必要があります。

現在、若い世代を中心に感染が拡大してきています。働く世代、若い方たちに、緊張感を持って、感染症対策を徹底していただくよう、改めてお願いしたいと思います。

横浜市が全力を注いでいる高齢者の皆様へのワクチン接種は、7月28日現在、約68万人の高齢者の皆様が2回目の接種を終えており、明日までに、希望するすべての高齢者の皆様への接種が完了する見込みです。

大変タイトなスケジュールの中、関係者の皆さんにはご努力いただき、感謝申し上げます。

おかげさまで効果が出始めており、陽性患者さんに占める高齢者の方の割合は、今年2月時点で31%でしたが、今月は、実に6%と大きく抑えられています。

職域や大学で、ワクチン接種の機会がある方は、ぜひ積極的に受けていただくようお願いいたします。

今後も、希望するすべての皆様が接種を受けられるよう、国から、必要となるワクチンをしっかりと確保し、ワクチン接種を、責任を持って着実に進めていきます。

ワクチン接種により、感染の拡大を抑制していくには、まだ時間がかかります。その間、どの程度感染を抑えられるか、皆様お一人、おひとりの行動にかかっています。

夏休みに入り、例年であれば、帰省や旅行、会食など、外出する機会も増え、親しい方々と会う機会も多くなる時期です。

市民の皆様に、お願いいたします。

- 生活に必要な場合を除き、外出を自粛し、基本的な感染防止対策を徹底してください。今、オリンピックも無観客で開催されています。ご自宅からの応援が、感染予防につながります。
- 更衣室など、密で閉鎖的な空間での会話による感染が増えています。感染リスクが高い場所や混雑している時間を避けて行動してください。

また、事業者の皆様にも、お願いいたします。

- 飲食店は、酒類提供を終日停止してください。
- テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組を推進してください。

最後に、各本部員に指示します。

- 勤務時間内外を問わず、基本的な感染症対策を行い、感染リスクが高い行動は避けるよう、改めて、職員一人ひとりに周知徹底してください。
- このたびの横浜市の方針に基づき、各区局が所管する施設やイベントでの対応を改めて整理し、利用者や関係者の皆様にしっかりと周知してください。
- Y-CERTを中心に、入院や転院、搬送の調整を通じて、医療提供体制をしっかりと維持してください。
- 現在、自宅療養されている市民の方は1,800人を超えています。各区は、区役所全体で応援体制を整え、県との連携のもと、自宅療養者の方々へのきめ細やかな健康観察を行ってください。
- 64歳以下の皆様へのワクチン接種が始まっています。昨日、全庁的な応援体制をさらに拡充し、約240人の体制に強化しました。市を挙げて、245万人に及ぶ対象者の皆様への接種を、着実に進めてください。
- また、これだけ大規模な応援体制を維持するためには、業務を今までどおりの形で続けていくことは困難です。業務の一層の効率化を図る、思い切って既存の事業の中止や縮小を判断するなど、改めて、所管業務を見直してください。  
この未曾有の状況を、全庁一丸となって乗り越えていきましょう。

3か月以上にわたる「まん延防止等重点措置」に続く、このたびの「緊急事態宣言」です。

横浜市は一日も早く、かつての日常を取り戻すことができるよう、今後も、ワクチン接種をはじめとする感染症対策を最優先に、力を尽くしていきます。

また、事業者の皆様からの特別経営相談を受け付けています。引き続き、事業者の皆様へのご支援にも全力で取り組んでいきます。

市民の皆様、事業者の皆様とご一緒に、何としましても、今の状況を乗り越えていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。